

# 武藏野母子寮を觀る

附屬幼稚園 清水光子

大宮公園に程近い、まだ武藏野の悋豊かなこゝ、武藏野母子寮をみせていたゞいたのは又々西南太平洋の輝しい皇軍の戦果が發表されました時で感慨一入深い心地でした。

明るい玄關に立つて受付の方の微笑に迎へられ、來意を告げますとすぐ幼稚園の山本先生が出ていらして二階の見晴しのよい應接室にお連れ下されこの母子寮について色々お話し下さいました。昭和十年十月に開寮された民間社會事業團體の事業であつたのが支那事變の勃發と一しよに世の中の認識も急に昂まり、又入寮希望者が大變増し、昭和十四年に恩賜財團軍人援護會の手にゆだねられ、設備擴張され、この様に内容充實され、收容世帯定員が開寮當時の倍になつたといふお話を伺ひ、今日までになさつたこのお仕事の道は中々大變であつたらうと思ひました。

まづ母子寮の方をみせていたゞく、お母さん達はそれ〴〵職場へ、學校へ、お仕事へ、と行かれ、子供さん達は學校へ、幼稚園へと行つて居られる時刻で廣い建物の中はしんと靜である。まづ二階の集會室、五十疊敷位の廣間で舞臺もある立派なお室で、ここでは時々常會(この寮特別の隣組菊櫻會の)が開かれたり慰安會

修養會などが催される他毎週生花のお稽古があるとのこと、この寮が單なる遺家族母子のアパートではないことがよくわかるのでした。前の廊下を右に折れて行つた突當りの室は休養室になつてゐて三つ程の室が他の室々と全然はなれてゐてこゝは法定外の傳染病たとへば麻疹とか百日咳とかの人達がこゝで休養する事になつてゐるとのこと、團體生活上行届いた設備であると思ひました。休養室の前の廊下をまづすぐに行くとなつと母子室の廊下につゞきます。母子室はコの字形に一階二階同様に竝んでゐます。

お室は六疊で正面に佛壇が備へつけられてゐますのも誠に當然とは言ひ乍ら心うたれました。押入、床の間の配置は決して廣い室ではないのにゆつたりと住心地よささうにみえました。廊下隔つてお臺所と洗濯場が竝んでゐますが時間のないお母様さん達が働かれるのにまことに都合よく出来てゐります。四十世帯分のこの寮内のどの部屋も同じ條件に作られてゐるとのことでありました。次に共同のお風呂場、こゝは一週に二度沸きますとのこと、交替に順序よく互に流し合つたりして入られるのでせう和やかな光景のいかにもと想像される明るい清潔なものでありました。

階下の支關のすつと並びに醫務室、こゝは寮の母子の爲海に行届いた衛生健康の施設がなされてゐるのです。専任の醫博が定期的に保健の指導をされ、毎日保健婦の方が母子一人一人について適切な處置をされてゐるので、弱いお子さんの榮養や、病氣豫防の爲には萬全の策が採られてゐるのです。中庭に面した圖書室、全寮に放送の出来る裝置のついた寮長室がその室と並んでゐます。中庭には我家の庭、菜園として樂しまれてゐる様子がみえました寮の本館は敷地六七五坪で建坪延て五九八坪餘りの由、廣いのにまとまりよく感じよくつくられてゐります。すつかりみせていたゞいて感心しつゝ外に出て、今度は幼稚園に御案内いたゞきました。

さつきからうすもゝ色の幼稚園がほゝえみかけてゐるような心地がしきりに致しましたが「ほまれ幼稚園」といふ低いご門をくゞるとあの可愛いゝ聲々が建物と庭にひゞき、「先生今日は」と言つて山本先生に飛びついて来るお子さんに迎へられてお支關を入りますとまづ黒板に今日のお晝食とお八つの獻立と明日の豫定とがかかれてゐます。幅の廣い廊下が鉤の手になつてゐてその兩側に

お室が並んでゐます。始めての訪問者である私を、迎へて下さるお子さんの何と期らかな明るい顔、顔、若し少しでも何か特別ないぢらしい顔つきな想像でもしてゐたらそれこそ失禮かも知れません。すくすくどのびのびした澄澈とした子供の世界が一ぱいに幼稚園中に繰繰げられてゐました。南へ圓く廣い遊戯室の天井、壁には四季の子供の生活を童話化して畫かれた子どもすきさうな、そして高尙な、

壁畫があります。この道の大家の奉仕で出来たこのことゝまことに見事なものでございました。この室の上座の壁には高貴な方のこゝへお成りの折のお寫眞がかかげられてあります。お子さん達は奥の運動具入れの小部屋から思ひ思ひに鐵砲だの、積木だのをもつて來て遊んでゐます。二三人頭をよせてまはりにつくりつけの椅子の上で繪木にみ入つてゐるお子さんもあります。ヨチヨチ歩きの子が庭への出口に腰かけて足をブラ／＼させてゐますと大きい女の子が出て靴をはかしてやつてゐます。庭への出口には外ばき入れの棚があつて大いはいは可愛いゝ下駄が入れてあります。それをはいて外へ出て砂場やプール(夏には水がはいる)でさつそくお園子やさん、ごさを敷いてまゝこのお室が始つてゐます。先生のお母さまに抱かれた赤ちやんは本たうにねむさうでむづかつてゐます。と先生は抱いて立ち上り、子守歌で揺つてねかしつけていらつしやいます。ブランコの電車は満員、ジャンゲルジムの軍艦、勇ましい兵隊さん達、まことに和やかな情景です。と先生がお集りしませうと仰言います。十時半近く、體操が始まるのでした。三組のお子さん達が並んで著音機でラヂオ體操でした、三歳四歳のお子さんの赤組でもとに角一緒に手足を振り、上げ、てゐます。それがすみますと大きな組からわになつて遊戯でした。聲も大きくとても元氣な遊戯でした。それから組々のお室に入り大きい白組ではあつてこの遊びと塗繪、中の組と小さい組は一寸した遊びをしてそろ／＼お食事のお仕度でした。一番奥のお部屋は午睡室で可愛いゝ赤ちやんぶとんにお午ねのお子さんが二人ありました。五右衛門風呂があつて土曜日の午後湯あみをおさ

せになるとのこと、暑い長い一日の間にはまことにいろいろ事だと思ひました。調理室では栄養士の方の指導をうけられた小母さんが、體操の時大きい組のお當番のお子さんが全體の人数を數へて報告されてあるので數だけのお皿に、おかつなよそつてゐます。手洗ひ、うがひのすんだお子さん達はごはんだけのおべんたうをひろげます。おかつのお皿がくばられ、お茶がつがれますとみんなおちついて兵隊さん、ありがたう、靖國神社のお父さまありがたう、を言ひます。まことに心打たれたのでした。食後はビタミンB劑をみんないたゞきます。一年四ヶ月といふ最年少のお子さんもおさぢで一人で食べてゐます。先生はいろ／＼お世話で御自分のお辨當はゆつくり上げませぬ。食後の片付けは大きい組のお子さん達はみな自分でしますが小さい組の方はこぼしたのを拾つたり口や手を拭いたりその世話は並大抵ではありません。その間眠くなつてむづかるお子さんに添寝なまつたりこ不淨のお世話、まことにいくつ體があつたらよいかと思はれる様なお忙しきでした。大きい組の在籍は十九、中の組は十一、小さい組は十人とのこと、よくもかう躰ていらつしやると感心いたしました。お子さん達は次々外へ出て元氣に遊んでゐます。その間、チフテリアの豫防注射を受けに母子寮の醫務室へ並んで行くお子さん達、一

人だつたら泣くかも知れない注射も泣かすにして戻つて來ます。百日咳の豫防注射ももうすんだとの事でした。

「そろ／＼お八つのお仕度なしませうね」と先生が言はれます。お辛のお八つとのこと、みんな手を洗ひに行きました。

日永の一日をかうして本當に楽しくみせていたゞきましたがお八つのお仕度を拜見して、失禮させていたゞく事にして御挨拶をして居りますとつと私の手に、手をつないで芝園まで送つて下さるお子さんがあります。大勢のお子さん方にさやうならと送つていたゞいて、幼稚園を出たのでございました。學童館の方は拜見いたしませんでしたが、男の先生と女の先生がお二人で學校から歸つた子供達の勉強から遊びからすつかり御指導になるとのこと、よそ乍ら拜見いたしました。

歸るみち／＼あのお忙しいお仕事の中を先生には、すつかり御説明下さり、お心おきなくみせて下さいました事を、その上私の心に、何か強い緊張と反省を與へられましたことを感謝する氣持で一ぱいでございました、と同時に私も一人の日本の母親として、あそこの母子の方々があくまで雄々しく進まれるよう切に祈つたのでした。